

会 議 録 (要 旨)

会 議 名	令和4年度第1回武蔵村山市子ども・子育て会議
開 催 日 時	令和4年8月3日(水) 午後2時から
開 催 場 所	市民会館(さくらホール) 会議室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者(対面)：押本委員、藤田委員 出席者(オンライン)：荒井副会長、木村委員、若山委員、波田委員、 比留間委員、渡辺委員 出席者(書面)：大友委員、高山委員、本田委員、飯田委員 事務局：子ども家庭部長、子ども青少年課長、子ども青少年課保育・ 幼稚園係長、子ども青少年課保育・幼稚園係主事2名
議 題	(1) 会長の選出について (2) 子ども・子育て支援事業計画に関する中間年の見直しについて (3) 令和3年度末における施策の進捗状況の点検・評価について
結 論 (決定した方針、残 された問題点、保留 事項等を記載す る。)	議題1について 会長に木村委員が選出された。 議題2について 原案のとおり承認 議題3について 原案のとおり承認
審 議 経 過 (主な意見等を原則 として発言順に記 載し、同一内容は一 つにまとめる。)	<b>1 開会</b>  ○ 事務局より、武蔵村山市子ども・子育て会議の概要について説明。 ○ 子ども・子育て会議条例第6条第2項の規定により、定足数に達していることを報告。 ○ 会議録作成のため、会議を録音することについて説明。  <b>2 委員自己紹介</b>  <b>3 議題</b> <b>(1) 会長の選出について</b> ○ 会長職務代理者荒井副会長より、会長は武蔵村山市子ども・子育て会議条例第5条第1項の規定により委員の互選により選任することを説明。 ○ 他委員の推薦により会長に木村委員が選出された。  —質疑応答— なし  <b>(2) 子ども・子育て支援事業計画に関する中間年の見直しについて</b>  ○ 事務局より、乳幼児期の教育・保育【量の見込み】の計画値と実績値について、10%以上かい離している区分がないことから計画の見直しは行わないと説明。  —質疑応答—  (会長) 見直しについて、資料3の乳幼児期の教育・保育の計画値・実績値の見直しをしないという解釈か。子ども・子育て支援事業計画全体の見直しが必要ないということか。

(事務局) 見直すかどうかについては、量の見込みについてだけであり、計画全体ではない。

### (3) 令和3年度末における施策の進捗状況の点検・評価について

「令和3年度武蔵村山市子ども・子育て支援事業計画 施策進捗状況一覧」は、第二期子ども・子育て支援事業計画に掲載している事業について、その進捗状況を記載したものである。

令和6年度までの目標達成の度合いを4段階で表しており、「A」が目標以上に達成できたもの、「B」が目標どおりに事業を実施できたもの、「C」が目標よりやや下回ったもの、「D」が目標より大幅に下回ったものである。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響により事業が中止となったものなど評価が困難な事業については「—」、令和2年度をもって終了した事業については、「/（斜線）」と表記している。

全部で177事業あるが、全ての事業を説明すると時間が不足するため、「A」、「C」、「D」及び「—（バー）」となった事業について説明させていただく。

「A」が2事業、「B」が148事業、「C」が18事業、「D」が1事業、「—（バー）」が6事業、「/（斜線）」が2事業である。

全事業の評価については、資料を御参照いただきたい。

#### —質疑応答—

(副会長) 項目番号72番、学校給食の関係で、現在小学校の給食センターの建設が進んでいるが計画の進捗状況について確認したい。

(事務局) 小学校の給食センターは、旧第二学校給食センターの跡地（榎3丁目）を整備予定地としている。スケジュールについては、令和5年2月に旧施設の解体撤去工事に着手、令和5年8月から新築工事を開始する予定である。給食センターの稼働については令和7年4月を予定している。現時点では予定どおり計画が進んでいると所管課から回答をもらっている。

(副会長) 項目番号171番特別支援教室について、令和3年度実績に令和4年度についての記載があるが、そのことについて「令和4年度事業内容」では触れられていないので、記載を入れた方がいいと思う。

(事務局) 令和4年度事業内容ではガイドラインについて触れられていないので所管課に確認し、記載方法について整理する。

(会長) 基本目標1子育て家庭支援の項目で進捗状況「C」が多いが、その中で開設希望がなかったということや人材確保の問題が理由で「C」が散見されるが、これについ

	<p>てどのような取り組みをしているのか、又は今後取り組む予定でいるか。</p> <p>(事務局) 個別に「C」となった理由について説明する。  項目番号2番地域型保育事業については、令和3年度は事業開始に伴う施設整備等の準備を行い、令和4年4月1日に開始されていることから来年度は実施済ということで進捗状況が「B」になる予定である。  項目番号3番認定こども園の設置については、本市の保育所はすべて私立であるため、法人運営方針に基づいて実施する予定がないことから「C」となっている。  過去に認定子ども園への移行を検討された園もあったが、施設の構造上、移行を断念した経緯もある。  項目番号6番延長保育事業については、未実施の園は同じ法人が運営する2園であるが、法人の保育方針、理念のもと実施していない。  項目番号8番トワイライトステイ事業については、実施に向けて児童養護施設等と調整し、実施の方向で動いているところである。  項目番号17番幼児教育・保育に関する支援を行う者の配置については、市の職員として専門的な知識を有する者を配置し、幼稚園や保育所等に指導や助言を行う事業であるが、人材の確保が困難であることと施設側のニーズについても今後調査を行っていきたいと考えていることから、この事業自体が必要かどうかについても検討していきたい。  項目番号24番養育家庭制度の周知及び理解と協力の促進については、登録家庭が0件となっているが今年11月に実際に養育家庭をされている方の体験発表会を予定しており、まずは発表会の参加者をできるだけ多くするために広報・周知活動をしていく。  項目番号25番スポーツ少年団運営支援については、現在の登録団体は、野球とミニバスケットボールの2団体と伺っている。  登録をすることで、参加できる大会数が増えるというメリットがある一方で、指導者や審判等の人数規定があり、保護者の負担が増えてしまうことから参加団体が増えないという現状である。</p> <p><b>4 その他</b></p> <p>(事務局) 第二期子ども・子育て支援事業計画は、令和6年度までの計画であり、令和7年度以降の計画策定に向けて、令和5年度中に無記名アンケート調査を実施する予定である。  当該調査は、教育・保育・子育て支援に関する利用状況、利用ニーズを把握することと併せて、市民の子育て環境等に係る基本データを取得することを目的として、住民基本台帳の中から小学校就学前（0～5歳）の子ども1,000名及び小学生（1～6年生）1,000名を無作為に抽出し、その保護者を対象に実施する。  そのため令和5年度は、発送前のアンケート内容の確</p>
--	---

	<p>認及びアンケート結果の報告等の機会を設けるため、年に2～3回程度会議を実施する予定である。</p> <p><b>5 閉会</b></p>
--	---

<p>会議の公開・非公開の別</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>公開  <input type="checkbox"/>一部公開  <input type="checkbox"/>非公開          ※一部公開又は非公開とした理由</p> <p>傍聴者： <u>    0    </u> 人</p> <p>( )</p>
--------------------	--

<p>会議録の開示・非開示の別</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>開示  <input type="checkbox"/>一部開示(根拠法令等： )  <input type="checkbox"/>非開示(根拠法令等： )</p>
---------------------	---

<p>庶務担当課</p>	<p>子ども家庭部 子ども青少年課 (内線：184 )</p>
--------------	---------------------------------

(日本産業規格A列4番)